

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。

<b>デジタルドリル活用実証研究推進プラン</b> <b>土佐町教育委員会</b>		<b>研究協校または指定校</b> 小学校 土佐町小学校	<b>校長名</b> 松山 文俊	<b>学校教育目標</b> 自尊感情を高め、自信とやる気をもった児童・生徒の育成	
		<b>研究協校または指定校</b> 中学校 土佐町中学校	<b>校長名</b> 松山 文俊	<b>学校教育目標</b> 自尊感情を高め、自信とやる気をもった児童・生徒の育成	
<b>本事業推進に向けての方針</b>		学年毎のICT機器使用頻度のばらつきや小学校5年生以降のデジタルドリル活用開始時のギャップを解消するため、本事業の補助対象外となる小1～小4に対しても、本町単独事業としてデジタルドリル(本事業で導入するアプリと同じもの)を導入・活用し「学びの変革」に取り組む。また、現時点で実施できていない端末の持ち帰りを積極的に実施し家庭学習の充実や、コロナ禍での自宅待機期間や不登校児童生徒の授業の遅れをカバーする。さらに、本事業を実施するで、教材等の購入コストの低減、紙の削減等環境の配慮にも寄与する。			
<b>年度当初の学校や地域の状況</b>		<b>目標</b>		<b>年度末の指定地域の到達目標達成状況</b>	
1年目において家庭にインターネットを活用して学習ができる環境の作成は達成することができたが、学習端末を持ち帰っての学習は週1～3回ほどとなっており、毎日持ち帰っての実施はできていない。習慣化の1歩として給食配膳の待ち時間にデジタルドリルを使用したりするようにして習慣化を図るようにしている。また実際に使用して教員側から「教科書とのずれ」や、「情報モラルの教育を十分に行う必要がある」等の意見が出ているため、教員、児童・生徒向けにスキルアップ研修や、模範授業(ゲストティーチャー)を通じてデジタルリテラシー不足の解消とICTを活用した教員の指導力向上を図る。		○全学年において、各クラス1日1回以上「1人1台環境」でデジタルドリルを活用した授業を実施する(R7.3月までに100%達成) ○全学年において、毎日学習用端末の持ち帰りを実施する。(R7.3月までに40%達成) ○管内学校の児童生徒の学習意欲の向上(学習意欲の向上した児童生徒の回答30%以上) ○教員のICT活用指導力の向上(R6.3月までに) ・教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力 肯定的評価90% ・授業中にICTを活用して指導する能力 肯定的評価90% ・児童・生徒のICT活用を指導する能力 肯定的評価80% ・情報活用の基礎となる知識や態度について指導する能力 肯定的評価80%		<b>達成状況</b> ○全学年において、各クラス1日1回以上「1人1台環境」でデジタルドリルを活用した授業を実施する:50% ○全学年において、毎日学習用端末の持ち帰りを実施する。:25% ○管内学校の児童生徒の学習意欲の向上 :29.8%	
				<b>考察</b> 各クラス1日1回以上「1人1台環境」でデジタルドリルを活用することは、復習や練習問題で使用できているが、1日1回以上の使用としては達成できていない。デジタルドリルと教科書との「ずれ」があり、毎回の授業での活用が難しかったと考えられる。 また、デジタルドリルの使用頻度は学年ごとに差がある状態。使用方法の教育だけでなく、教員に対してのデジタルドリルの活用環境などの整備がまだ整っていないと考える。 端末持ち帰りもあまり進んでいない。要因としてデジタルドリルと教科書との「ずれ」でドリルを日々の宿題として行うのが難しく、個々の自主性に頼ってしまっており、習慣化させることができなかったためと考えられる。 紙媒体からデジタルドリルへの移行など、より踏み込んだ活用環境の変更も考えていかないと活用頻度は上がらないと考える。	
<b>目標達成のための取組</b>					
<b>項目</b>	<b>具体的な達成目標</b>	<b>取組計画(4月～3月)</b>		<b>達成状況</b>	<b>評価</b>
<b>デジタルドリル活用の推進体制の整備及び進捗状況の把握</b>	県地域教育振興事業に係る定例会に合わせて、事業関係者(校長、教頭、研修指導員、情報担当教員、教委担当者、ICT支援員等)で構成する連絡会を開催し、情報共有や実践交流を通して、組織的・効果的な取組を推進する。	4月:デジタルドリル登録・更新作業・利用開始 6月:アンケート実施(児童生徒・教員対象) 8月:定例会① 11月:アンケート実施(児童生徒・教員対象) 12月:定例会② 3月:結果確認		・定例会開催については、県地域教育振興事業に係る定例会に合わせて実施した。 ・教員及び児童生徒対象アンケートの実施(5月、11月)	B

(様式1) ※A3判(1枚)に収める。

<p><b>指定校または研究協力校の取組・成果等の発信及び普及</b></p>	<p>町のホームページで取組の様子や成果などを掲載したり、参観日や学校運営協議会などで保護者や地域に知らせたりして、発信していく。また、他校の取組を地教委連絡会や職員会などで報告し、管内の学校の取組の改善・充実を図る。</p>	<p>4月：デジタルドリル活用開始                      5月：第3回連絡協議会                      6月：児童生徒・教職員対象アンケート①実施                      8月：ICTスキルアップ研修会(中)、1学期結果分析・検討会                      10月：ICTスキルアップ研修会(小)                      11月：児童生徒・教職員対象アンケート②実施                      12月：2学期結果分析・検討会、第4回連絡協議会                      3月：結果確認</p>	<p>・教員が他校の取り組み事例紹介の研修などに参加、報告などを実施した。                      ・教育委員会から他地域での事例を知りえた場合、都度学校にも共有し取組の充実を図った。                      ・町ホームページで取組の様子や成果を掲載した。</p>	<p>B</p>
<p>(自由設定欄)</p>				

※評価 A(十分できた) B(おおむねできた) C(あまりできていない) D(全くできていない)